

はれ ときどき くもり

訪問看護

あなたのままでいいんだよ

イラスト◎野坂泰代

「Bさん、患者会に行ってみたいんだって！」目をキラキラさせて、訪問看護師のスタッフが、訪問先から帰って来ました。

つい先日、別の利用者さんから、「テンポが速すぎて落ち着かない」と言われ、しょげていた彼女。でも、今日の利用者さんには、素早い情報提供力が気に入ってもらえたようです。「病にかかってから、閉じこもりがちだった方が、心を開き、生きる意欲をとりもどしてくれました」と、踊りだしそうな彼女を見ていると、こちらまで嬉しくなってきました。

訪問看護は、ご自宅に入り、本当にさまざまな暮らしのなかでケ

アをします。100人いれば100通りの生きかたや好みがある。ある人にとっては不満なナースでも、別の方にとってはかけがえのない存在になることがあります。

もちろん、当たり前のマナーや相手に合わせること、看護技術など、常に磨き続けねばならないことはあります。でも、それぞれのナースの個性がキラリと光るお宅が、必ずあるように思います。

「あなたは、あなたのままでいいんだよ」と、大勢の人生の大先輩たちが、私たちの背中を押してくれている。訪問看護をしていると、そんな気がしてきます。

●今月の執筆者
阿部郷子

あべ・さとこ／医学部保健学修士課程修了後、東京電力(株)に入社。2000年に現・東電パートナーズ(株)に出向し、介護事業に携わる。その後、訪問看護事業所を立ち上げ、現在、東京エリア総括長として運営支援を行っている。

